

(別紙)

質問		提供情報	参照資料など
A.コーポレートガバナンス/経営について			
1	独立取締役選任についての今後の計画	今後の計画は、現時点では未定です。当社グループの経営環境等を鑑み、ふさわしい候補者を指名委員会にて推薦いただき、株主総会に提案させていただきたいと考えております。	
2	御社は、現状何人の取締役が経営陣から独立していると考えられており、今後独立した取締役が役員会の中でどの程度の比率必要とお考えか。	現在の状況につきましては、コーポレートガバナンス報告書に記載しております。また、独立取締役の構成比率も含め、今後の計画については、上記A.1のとおり未定です。	東京証券取引所ホームページ「コーポレートガバナンス情報サービス」でのサッポロホールディングス社コーポレートガバナンス報告書をご参照ください。
B.不動産事業			
1	各物件のフロアごとの図面	各物件でのテナント募集や入居等のお問い合わせの際には当該フロアの図面をお渡ししておりますが、営業上の目的以外の場合には原則として提示しておりません。	
2	各物件の年間維持費	各物件の維持費につきましては、委託先との契約や競争関係上の理由などにより情報を公開しておりません。	
3	主なテナントとの主要な契約条件	個別の賃貸借契約等の内容につきましては、テナント様との契約上、公表することはできません。	
4	今後3-5年の事業計画(売上、売上総利益、営業利益、減価償却費、暖簾代償却、設備投資など)	サッポログループ中期経営計画(2006年～2008年)をご参照ください。2009年以降の経営計画につきましては、今後現中期計画の進捗状況等を踏まえ、策定することとなりますので、現在のところ開示可能な情報はございません。	2006年2月20日サッポロホールディングス社ニュースリリース「戦略的な投資と研究開発を強化し、将来に向けた持続的な成長を目指す～『サッポログループ新中期経営計画』(2006年～2008年)～」をご参照ください。
5	大阪工場閉鎖後の計画	サッポロビール社での大阪工場製造停止の発表時に述べたとおり、大阪工場跡地利用に関しては現在検討中です。	2007年5月31日サッポロビール社ニュースリリース「ビール・発泡酒 新ジャンル商品の生産体制見直しについて」をご参照ください。
C.酒類事業			
1	各工場の稼働率	サッポロビール社での大阪工場製造停止の発表時に述べたとおり、大阪工場製造停止後、サッポロビール社全体の操業度は2006年実績の71%から2009年の予想として88%となります。各工場別の稼働率は公表しておりません。	2007年5月31日サッポロビール社ニュースリリース「ビール・発泡酒 新ジャンル商品の生産体制見直しについて」をご参照ください。
2	今後3-5年の事業計画(売上、売上総利益、営業利益、減価償却費、暖簾代償却、設備投資など)	サッポログループ中期経営計画(2006年～2008年)をご参照ください。2009年以降の経営計画につきましては、今後現中期計画の進捗状況等を踏まえ、策定することとなりますので、現在のところ開示可能な情報はございません。	2006年2月20日サッポロホールディングス社ニュースリリース「戦略的な投資と研究開発を強化し、将来に向けた持続的な成長を目指す～『サッポログループ新中期経営計画』(2006年～2008年)～」をご参照ください。
3	主力ブランドであるエビス、黒ラベル及びその他主要なブランドごとの過去と現状の売上、売上総利益、営業利益	主要ブランドごとの売上数量につきましては、四半期ごとにサッポロビール社のホームページにて発表しております。ブランド別の売上総利益、営業利益につきましては、競争関係上、情報を公開しておりません。	サッポロビール社ホームページの「売上動向」をご参照ください。
4	主力ブランドであるエビス、黒ラベル及びその他主要なブランドごとの過去と現状の広告宣伝費、販売促進費	連結ベースでの広告宣伝費・販売促進費は有価証券報告書に記載しております。ブランドごとの数値につきましては、競争関係上、情報を公開しておりません。	
5	家庭用、業務用商品の過去5年の売上、売上総利益、営業利益及びそれぞれの市場におけるマーケットシェアの推移	前述の通り、主要ブランドごとの売上数量をご参照ください。家庭用・業務用商品という区分での情報は、競争関係上、公表しておりません。	サッポロビール社ホームページの「売上動向」をご参照ください。
6	主力ブランドの過去のマーケットシェアの推移	主要ブランドごとの売上数量につきましては、四半期ごとにサッポロビール社のホームページにて発表しております。	サッポロビール社ホームページの「売上動向」並びに、四半期ごとの同業他社の発表内容や、日本経済新聞等、マスコミ各社の報道内容をご参照ください。
7	ビール、発泡酒、第3のビールそれぞれの限界利益	競争関係上、情報を公開しておりません。	
8	主力ブランドであるエビス、黒ラベルを今後成長させていくための戦略	2007年サッポロビールマーケティング方針にてブランド別の戦略をご説明しております。	2007年1月11日のサッポロビール社のニュースリリース「2007年サッポロビールマーケティング方針」をご参照ください。
9	家庭用、業務用市場に関するそれぞれの戦略	2007年サッポロビールマーケティング方針にてブランド別の戦略をご説明しております。なお、家庭用・業務用市場という区分での情報は、競争関係上、公表しておりません。	2007年1月11日のサッポロビール社のニュースリリース「2007年サッポロビールマーケティング方針」をご参照ください。

(別紙)

質問		提供情報	参照資料など
10	北米市場に関する戦略、スリーマン社を買収するにいたった理由と期待できるシナジー効果の詳細	スリーマン社の株式取得の際に、目的ならびに期待される相乗効果についてご説明しております。	2006年8月12日のサッポロホールディングス社のニュースリリース「子会社による Sleeman Breweries Ltd. (カナダ)の株式取得に関するお知らせ」をご参照ください。
11	スリーマン社の業績推移と買収時の予算との比較	スリーマン社の株式取得の際に、スリーマン社の業績推移等につきましてご説明しております。また、平成19年(2007年)12月期中間決算短信補足説明資料にて国際酒類事業でのスリーマン社・サッポロブランドの売上数量の実績・見通しの情報を記載しております。	2006年8月12日のサッポロホールディングス社のニュースリリース「子会社による Sleeman Breweries Ltd. (カナダ)の株式取得に関するお知らせ」、並びに平成19年(2007年)12月期中間決算短信補足説明資料をご参照ください。
12	スリーマンブランドのビールを日本市場で販売する予定	検討中ですが、現時点では未定です。	
13	ビール、発泡酒、第三のビールそれぞれにおける今後考えられる法規制、税制改正について	本件につきましては、当社にてコメントする立場にはございません。	
14	原材料価格(麦芽、ホップ、アルミ 原油など)の高騰に対する対策	本年決算に対する影響につきましては、平成19年(2007年)12月期中間決算短信補足説明資料にて記載しております。	平成19年(2007年)12月期中間決算短信補足説明資料をご参照ください。
D. 飲料事業			
1	御社の飲料事業全体及び主要ブランドの過去のマーケットシェアの推移	商品別の売上等のデータにつきましては、業界誌等の取材にて情報を開示しておりますので、各社の報道内容をご参照ください。	醸造産業新聞、飲料総研、ビバリッジジャパン等での報道内容をご参照ください。
2	御社の当業界に関する分析(飲料業界 競合他社の定義、業界の平均営業利益率、平均投下資本利益率など)	業界及び競合他社の状況につきましては、一般公開資料をご参照ください。社内での分析資料につきましては、競争関係上、公表しておりません。	(社)全国清涼飲料水工業会、(株)富士経済等の開示情報をご参照ください。
3	今後3-5年の事業計画(売上、売上総利益、営業利益、減価償却費、暖簾代償却、設備投資など)	サッポログループ中期経営計画(2006年～2008年)をご参照ください。2009年以降の経営計画につきましては、今後現中期計画の進捗状況等を踏まえ、策定することとなりますので、現在のところ開示可能な情報はございません。	2006年2月20日サッポロホールディングス社ニュースリリース「戦略的な投資と研究開発を強化し、将来に向けた持続的な成長を目指す～『サッポログループ新中期経営計画』(2006年～2008年)～」をご参照ください。
4	製品仕入れにおける自社製造、外部製造の比率と自社製造がある場合の工場稼働率	自社製造はございません。	
5	自動販売機の総台数、及び自社運営の台数 他社運営の台数の内訳、御社として資産計上されているものの簿価	自動販売機の台数および自社運営・委託運営等の内訳は、競争関係上公表しておりません。簿価につきましても公表しておりません。	
6	販売チャネル(自動販売機、スーパー、コンビニエンスストアなど)ごとの売上向上策	業界誌等の取材にてブランド別等のマーケティング方針をご説明しておりますので、各社の報道内容をご参照ください。販売チャネル別の情報は、競争関係上、公表しておりません。	業界誌(ビバリッジジャパン等)での報道内容をご参照ください。
E. 外食産業			
1	今後3-5年の事業計画(売上、売上総利益、営業利益、減価償却費、暖簾代償却、設備投資など)	サッポログループ中期経営計画(2006年～2008年)をご参照ください。2009年以降の経営計画につきましては、今後現中期計画の進捗状況等を踏まえ、策定することとなりますので、現在のところ開示可能な情報はございません。	2006年2月20日サッポロホールディングス社ニュースリリース「戦略的な投資と研究開発を強化し、将来に向けた持続的な成長を目指す～『サッポログループ新中期経営計画』(2006年～2008年)～」をご参照ください。
2	御社の当業界に関する分析(外食業界 競合他社の定義、業界の平均営業利益率、平均投下資本利益率など)	業界及び競合他社の状況につきましては、一般公開資料をご参照ください。社内での分析資料につきましては、競争関係上、公表しておりません。	(社)日本フードサービス協会等の開示情報をご参照ください。
3	サッポロ銀座ビル、銀座ライオンビルなど、(株)サッポロライオンが保有する不動産について、第三者からの家賃収入は不動産事業、もしくは外食事業どちらに計上されておりますでしょうか。また外食事業の総資産の中でこれら所有不動産の簿価をお知らせください。	サッポロ銀座ビルの第三者からの賃料収入は不動産事業に計上されております。銀座ライオンビルは、すべて外食事業で使用しておりますので、第三者からの家賃収入はございません。また、両物件の簿価は、公表しておりません。	
4	(株)サッポロライオンが不動産を保有している為に家賃費用を計上されていない物件をお知らせください。またそれら家賃費用を計上されていない物件の市場家賃水準についての考えも合わせてお知らせください	サッポロライオン社が保有する不動産は、すべて同社が外食事業にて使用しております。また、これらに対する当社としての市場家賃水準についての考えはございません。	